

地域学科 国際地域文化コース 募集予定 5人

わたしの
総合型選抜

世界に目を向け、子どもたちを守る活動に従事したい

高校の授業で学んだことをきっかけに、将来ユニセフで働きたいと思うようになりました。そのためには、日本だけでなく世界の文化や歴史を知るべきだと考え、進学先を探していると、「鳥大の総合型選抜を受けないか」と担任の先生。国際地域文化コースは自分が学びたいこととマッチしていると感じ、挑戦することにしました。

1次面接はこの年からオンラインに。あまり慣れていなかったのですが、本番と同じWeb会議システム「Zoom」を使って練習しました。画面を見て話していると、「目が合わないよ」と先生から指摘が。カメラレンズを見ないといけないんですね。対面の面接とは違う難しさやコツがあるので、オンライン用の練習は大事ですよ。

掘り下げて考えるクセを付け、討論を上手に展開しよう

高校の先輩から直接、受験体験談を伺えたのは助かりました。グループディスカッションでは、テーマや他の人の意見に対して「なぜ？」と疑問を持つようにすると深く掘り下げることができ、次の展開につなげられると教えていただきました。

課題論文は毎日のように対策。試験時間を無駄にしないよう、資料を読むときにポイントとなる点に印を付け、大まかな結論が決まったら書き始めるようにしました。

2次の個人面接では、最後に「なぜこのコースで学びたいのか」という英語の質疑応答が。英語弁論の経験が活き、なんとか答えることができたのですが、突然だと慌てるかも。志望理由、自己PRは英語で話せるよう準備しておきましょう。

2年

もろずみ ほのか

諸住 帆乃香さん（鳥取城北高等学校 出身）

MY
FAVORITE
"TOTTORI"

心安らぐ昔ながらの近所付き合い

道で出会うと優しく声をかけてくれたり、野菜をお裾分けしてくれたり、昔ながらのご近所付き合いが今も残っています。何気ない交流がうれしく、心が温まります。

全文は
Webで！



第2次選考

選抜のポイント、面接・論文等の出題例等

- 2023年度総合型選抜がどのように行われたかについて、学部・学科・コースの募集単位別にポイントや出題例を示したものです。
- 2024年度総合型選抜が下記のように行われるということではありませんので、ご注意ください。

全体を通して
求める力

文化、地域、国際交流など地域と文化に関する分野に関心があり、他者の話によく耳を傾けて理解しようとする姿勢や深く考えを掘り下げる姿勢、それらを分かり易く表現する力を求めます。

グループ ディスカッション

異なる思想や来歴を持つ他者との対話やコミュニケーションに関連する資料4点(A4版8枚)を読んだのち、誰もが自由に意見し合い、共生できる社会を実現するために何が重要か、1グループ7名で120分のグループディスカッションを行いました。進行は教員が行いました。

課題論文

明治以前の木版本や写本類を電子書籍化する意義と、それらの本を読む能力（和本文読解力）の必要性を論じたエッセイ(A4版4枚)を読み、90分で設問(2問)に解答するものでした。設問内容は、著者が和本文読解力を用いているかの要約(200字以内)、および劣化や散逸が進む資料をデジタル化することに対する受験生自身の考えを、具体例を挙げて論述するもの(800字以内)でした。

個人面接

3名の面接官による、1人あたり15分の面接を行いました。

●選抜方法と求める能力の関連

選抜方法	知識・技能	思考力・判断力	表現力	主体性・協働性	創造性	思考の柔軟性
2次(グループディスカッション)	○	○	○	○		○
2次(課題論文)	○	○	○		○	
2次(面接)		○	○	○	○	